

致道博物館 2025年度 年間スケジュール



重要文化財 旧西田川郡役所 常設展示リニューアル
1階: 数道ミニチュアコレクション 2階: 庄内考古資料室



 致道博物館
CHIDO MUSEUM

館名の「致道(ちどう)」は、庄内藩校致道館に由縁し、出典は『論語』の「君子学んで以って其の道を致す」です。

■ 新収蔵品展 刀剣と美術	■ 第46回 鶴岡書道会会員展
■ ドラマティック書画	■ 昭和百彩 歴史編 鶴岡爆誕！
■ 月顔がいのちの〜ト 吉徳これくしょん	■ 第32回 鶴岡雑物語
■ 出羽庄内酒井家 受け継がれし名品	■ 昭和百彩 民俗編 鶴岡ノスタルジア
■ ART of Shonai2 うるし	■ 常設展示のみ ※企画展 展示替え
	■ 休館日 ※水曜日、年末年始（12/28〜1/4）

2025年4月 April							2025年5月 May						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5					1	2	3
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24
27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31

2025年6月 June							2025年7月 July						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5
8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12
15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19
22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26
29	30						27	28	29	30	31		

2025年8月 August							2025年9月 September						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2				1	2	3	4	5
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
24 31	25	26	27	28	29	30	28	29	30				

2025年10月 October							2025年11月 November						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4							1
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
26	27	28	29	30	31		23 30	24	25	26	27	28	29

2025年12月 December							2026年1月 January						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6					1	2	3
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	31

2026年2月 February							2026年3月 March						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
							29	30					

新収蔵品展 刀剣と美術

2月15日(土)～4月14日(月)
近年の受贈から、鶴岡出身の愛刀家・三矢宮松(1880-1959)旧蔵や旧庄内藩土ゆかりの刀剣、書画・陶磁器等を紹介します。刀 銘 兼定、刀 磨上無銘 三原、狩野了承「松鶴図」、高麗焼青磁中皿など、約40点を出品。



中林竹洞「竹林図」

ドラマティック 書画

4月18日(金)～6月16日(月)
すべての書跡や絵画にはドラマがあります。なぜその作品が生まれたのか?—創造の背景に秘められた物語。なぜその作品が現在にまで受け継がれたのか?—伝来の軌跡。その作品にはどのような思いが込められているのか?—作者たちの人生ヒストリー。時を超えて伝わる書画は、今なお私たちを魅了し続けています。一筆、一色に託されたドラマティックな物語。芸術作品としての価値を超えた、奥深い世界をお楽しみください。

主な出品:無準師範筆 禅院額字「潮音堂」(国指定重要文化財)、伝狩野元信筆「波図」(慈光明院蔵)ほか



【左】重要文化財 禅院額字「潮音堂」 【右】「酒天童子絵巻」

月顔がいのちの～♪ 吉徳これくしょん

6月20日(金)～8月18日(月)
日本の人形玩具研究の第一人者で人形業界の重鎮、吉徳十世・山田徳兵衛(1896～1983)が、昭和初期頃から研究資料として収集した品々を母胎とする「吉徳これくしょん」。日本人形の祖形といわれる祓いのひとがた、人形工芸の極致ともいえる江戸期の御所人形、節句飾りの変遷を示す古雛や五月人形、また人形や玩具が描かれた浮世絵など、無慮数千点に及ぶコレクションからの精選資料により、日本が誇る人形玩具文化を見つめなおします。 市松人形(やまと人形) 人形界最初の人間国宝・2代平田郷陽の若年期の傑作



出羽庄内藩主酒井家 受け継がれし名品

8月22日(金)～10月20日(月)
徳川四天王の一人・酒井忠次を祖とする酒井家は、元和8年(1622)、藩主として庄内に入部し、その後250年近く庄内地方を領国経営し続けました。



重要文化財 色々威胴丸の兜

本年は、初代・忠次が活躍した長篠の戦いから450年の記念の年に当たります。大名酒井家に伝来した様々な美術品や工芸品、歴史資料などを出品し、庄内の歴史と大名家としての文化を考えます。期間中は、記念講演会や上林恒平刀匠の制作実演、「刀剣乱舞ONLINE」とのコラボレーションなど、各種イベントの実施を予定しています。

主な出品 太刀 銘 信房作、太刀 銘 真光(共に国宝)、色々威胴丸、短刀 銘 吉光 名物 信濃藤四郎(共に重要文化財)ほか

ART de Shonai 2 うるし

10月24日(金)～12月16日(火)



本間舞華「柿文盆」個人蔵

厳しくも温かな自然風土から生まれ出て、脈々と繋がれてきた庄内人が有する美の感性を紹介するシリーズ第2弾。古くから日本人の生活と深く結び付いてきた漆。江戸時代の庄内では、職人がお椀や重箱といった日用品としての漆器を作り、藩お抱えの御職人は刀の鞘などの制作に熱心に取り組みました。明治になると御職人だった阿部竹翁が竹塗を創始し、蒔絵では本間舞華などの優れた漆芸家を輩出しました。山形市在住の蒐集家が所蔵する作品を中心に展覧します。美術的価値と「用の美」を併せ持つ漆芸品の魅力に触れてください。

第46回 鶴岡書道会会員展

12月19日(金)～2026年1月13日(火)
鶴岡市にあり、流派を超えて活動する書道団体(昭和8年創設)作品展。

昭和百彩 歴史編 鶴岡 爆誕！

2026年1月17日(土)～3月3日(火)

昭和100年展第1弾。旧鶴岡市が発足して101年、平成の大合併によって現在の鶴岡市が発足して20年が経ちました。昭和・平成・令和と時代は流れ、人々の暮らしは大きく様変わりました。本展では、この100年の間に起こった戦争や事件、災害、技術革新など、鶴岡を中心に近現代の歴史的な推移を辿ります。



鶴岡市銀座通り 昭和48年3月11日撮影 鶴岡市郷土資料館蔵



暮らしの道具たち あの道具は今?

昭和百彩 民俗編 鶴岡ノスタルジア

3月7日(土)～4月20日(月)

昭和100年展第2弾。「昭和時代」(1926～1989)を振り返れば、1945年の太平洋戦争敗戦を堺に「戦前」と「戦後」と分けられ、激動の時代と称されます。特に1960年代後半から1970年代後半までの高度経済成長期、日本人の生活様式は劇的に変わりました。これらを物語る民俗資料や生活文化資料を中心に展示し、「昭和時代」を振り返ります。

第32回 鶴岡雛物語

2月21日(土)～4月5日(月)

鶴岡に春を告げる恒例の行事「鶴岡雛物語」。当館では、旧庄内藩主酒井家や市内旧家に伝わった雛人形や雛道具のほか、全国でも珍しい生菓子「鶴岡伝統のお雛菓子」を一堂に展示します。大名家ならではの典雅な雛祭りをお楽しみください。特別企画として、鶴岡北高校旧蔵の裁縫雛型などを初公開いたします。 酒井家の有職稚児雛



グループ 2025年度 庄内姉妹人形教室作品展 10月予定
第18回「砂の会」作品展 11月1日(土)～4日(火)
第29回 鶴岡東洋蘭同好会「春蘭展」2026年3月予定